

# 野村信介の村政と議会報告会

ようこそお越しくございました！

令和5年2月19日



# 立村70年に向けて

1956年（昭和31年）

山添村発足

2026年（令和8年） 70周年！

終戦から約80年

団塊世代が八十路に

# 山添村・立村70年に向けて

## かつて存在した山添村

山形県山添村 1889～1952（63年間）

岐阜県山添村 1897～1950（53年間）

私たち山添村 1956～？（現在67年目）

自分たちの山添村を長生きさせたい！

今年は、あの住民投票から20年！

2003年の住民投票で合併を選択していたら？

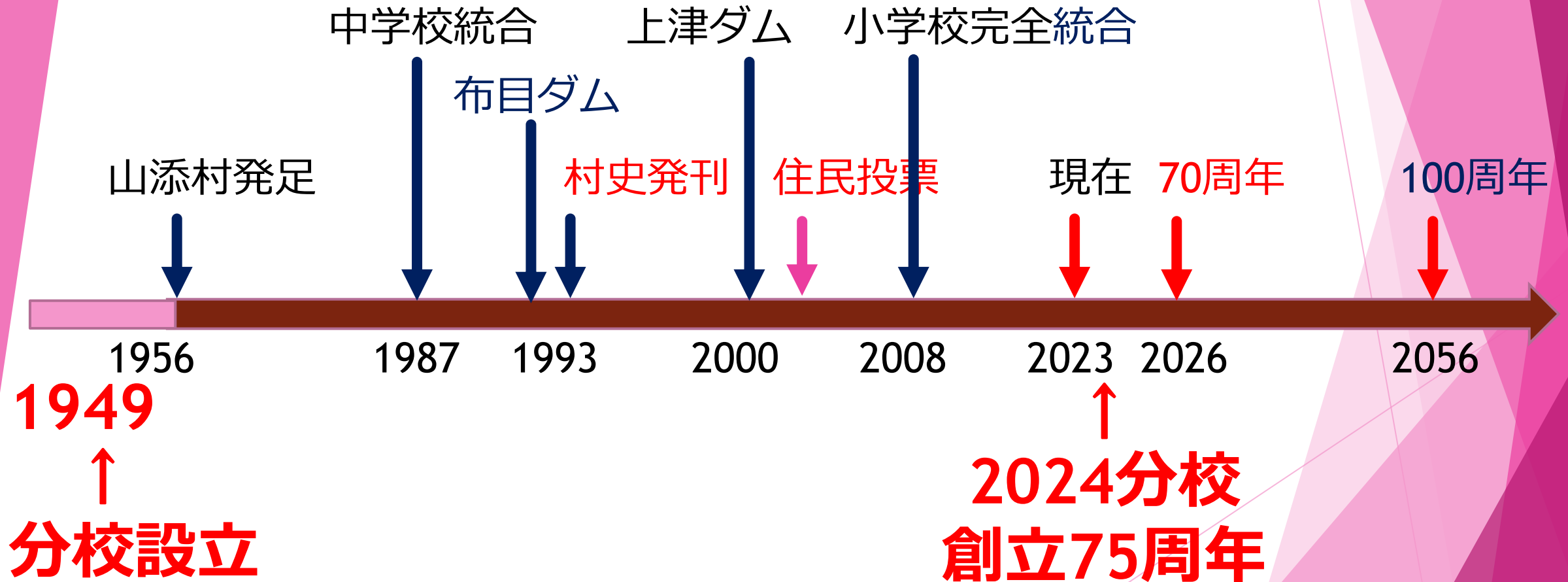
歴史に「もし」はないが、、、

今、自分たちがこの地域の担い手だ  
という意識は維持できただろうか？

今年は、住民投票から20年！

**山添村民 = 山添人**

# 立村70年に向けて



## 山添分校の問題

**2016年（H28）から本校化を目指していた。  
山添分校村立移管に係る準備会  
村立山添分校本校化推進委員会**

本校化とは？  
なぜ分校のままでは  
だめなのか？

**山添村立奈良県立山辺高等学校山添分校**

**設置者が山添村**

**管理者が奈良県**



本校化とは  
新しい学校を創ること

現在の山添分校 → . . .

山添村立〇〇高等学校をスタート

分校

〇〇〇〇年

3月

4月

卒業

入学

村立本校

〇〇〇〇年

3月

4月

卒業

入学



山添村立高等学校 開校

# 校名募集

ICTを導入して、新たに誕生

70余年の間親しまれてきた、山辺高等学校山添分校が山添村立の昼間定時制高等学校 本校として生まれ変わります。

これからの地域を担う人材育成を目指し、地域を支える学校として、開校します。

新しい教育・文化の拠点として地域の子どもたちの学びの場となる

● 学校の名称を広く募集します。

本校化とは  
新しい学校  
を創ること

本校化推進員会で議論は  
相当に進んでいた。

令和5年4月の開校に向け、  
校名募集のポスターさえ

準備が始まっていた。

(令和2年12月の委員会資料より)

## 山添分校の問題

**2016年（H28）から本校化を目指していた。**

**山添分校村立移管に係る準備会**

**村立山添分校本校化推進委員会**

**2021年（R3）本校化の優先順位を下げる方針（前村長）。**

**同年秋 現村長当選**

**2022年（R4）9月全員協議会にて、本校化断念、廃校を検討している旨の報告。**

新村長が  
「本校化を一から検討し  
なおす」と  
言ったにもかかわらず

多くの村民（私達議員も含めて）  
2022年令和4年9月の全員協議会にて  
「本校化断念・廃校を検討している」との  
発言があるまで、問題意識は低かった。

# 山添分校の問題

## 2022年（R4）12月定例議会

### 私の一般質問に対する村長の答弁

ている。かつて、本校化に向けて活動を続けていた推進委員会が、2年近く開催されない状態が続いたが、11月4日に開催され、今後の動向に、卒業生に限らず、村民の関心は高まっている。今後分校の本校化にどのような問題があるのか。

【答 弁】

野村 村長

村立の本校化を目指し、準備会や本校化推進委員会を幾度となく開催されてきたが、令和3年3月「村の教育としては、まず保育園の統合、小中一貫教育、そして分校の本校化」という方針が出されて以降、本校化に向けての歩みは止まったままであった。村長就任当初は、本校化ありきの話をしてきたが、昨年の会議では、分校の本校化に関しては、一から検討しなおすと話をした。

現在分校は、定員割れが続き、定員120名のところ、ここ10年、全校生徒は30名から50数名である。多くの生徒が県外出身である高校を村として存続させるべきなのか。加えて本校化にあたり、教員を含む複数名の職員を村で新たに採用しなければならず、本校化に伴う校舎の改築や耐震補強工事にあわせ、今後の財政負担の問題がある。現在の状況を総合的に判断すると、村立の高等学校として維持していくことは困難な状況にあると考える。

# 山添分校の問題

学校の運営費は、どれくらい？

小学校～高等学校の「教育費」は、6千万円～1億円程度（村全体の総支出の3%以下）

この教育費のなかの学校管理費の比較（平成30年～令和3年を概ねの金額で提示）

◎ 学校	学校管理費（決算額）	基準財政需要額	概ねの比率
山添分校	1200～1500万円	3100～3400万円	(40～48%)
山添中学校	1800～2500万円	2800～3000万円	(60～90%)
山添小学校	3000～3500万円	4500～4800万円	(70～80%)

（基準財政需要額とは、国からの地方交付税の算出の基になるもの）

# 山添分校の問題

山添分校の学校管理費は、なぜ、これだけで済んでいるのか？

現在の分校スタッフ

教頭1名、講師・教諭7名、非常勤講師10名、実習助手1名、校務員1名

公立の定時制高等学校教員は、原則として都道府県費で雇用。

(市町村立学校職員給与負担法第2条)。

仮に、このまま本校化するすれば、

さらに、校長1名、事務長1名、指導主事1名(学校教育法施行規則第82条)、

さらに、非常勤講師数名が必要になる。

県費で雇用される校長以外の職員の給与が村負担となる(2500万円前後か)。

# 山添分校の問題

このまま分校が本校化したら、運営費は、どれくらいになるか？

小学校～高等学校の「教育費」は、6千万円～1億円程度（村全体の総支出の3%以下）

この教育費のなかの学校管理費の比較（平成30年～令和3年を概ねの金額で提示）

◎ 学校	学校管理費（決算額）	基準財政需要額	概ねの比率
山添本校	3500～4000万円	3100～3400万円	(110～130%)
山添甲字校	1800～2500万円	2800～3000万円	(60～90%)
山添小学校	3000～3500万円	4500～4800万円	(70～80%)

（基準財政需要額とは、国からの地方交付税の算出の基になるもの）

その他、校長室や教室の整備などに、1000万円程度（単年で済む）  
耐震工事は、本校舎は完了済み

この増額を、高いと感じるか？  
これくらい必要と考えるか？



## 山添分校の問題

**2022年（R4）12月定例議会 一般質問**

**2023年（R5）1月全員協議会**

**R6年度の入学募集を停止し、  
本校化はゆっくり検討と、提案されたが、  
拙速であるとの理由など多数で、提案断念。**

9月以降、議論がまったく行われていないから。

議会に対しても、

教育委員会定例会においても。

ようやく、

11月から「本校化推進委員会」が再開されたのみ。

# 教育長の提案を 図式すると・・・

## 分校

2023年 (R5)

3月



卒業

4月



入学

2024年 (R6)

3月



卒業

4月

(入学)

遮断

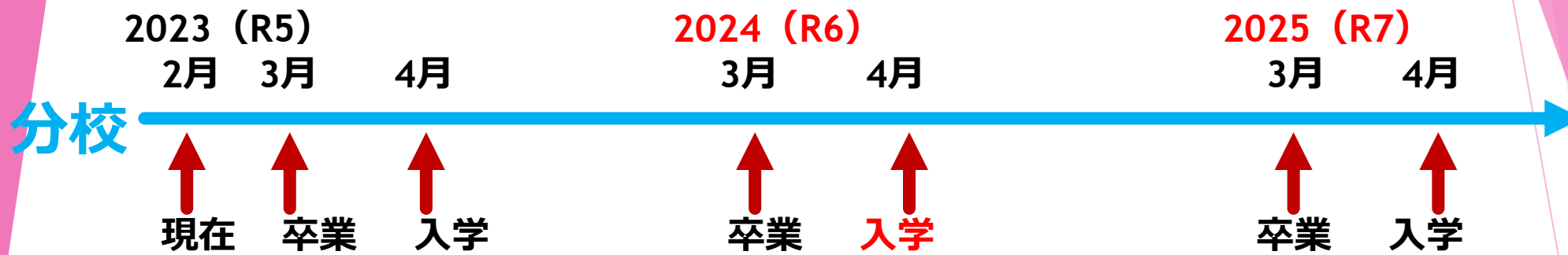
村立本校

〇〇〇〇年

4月



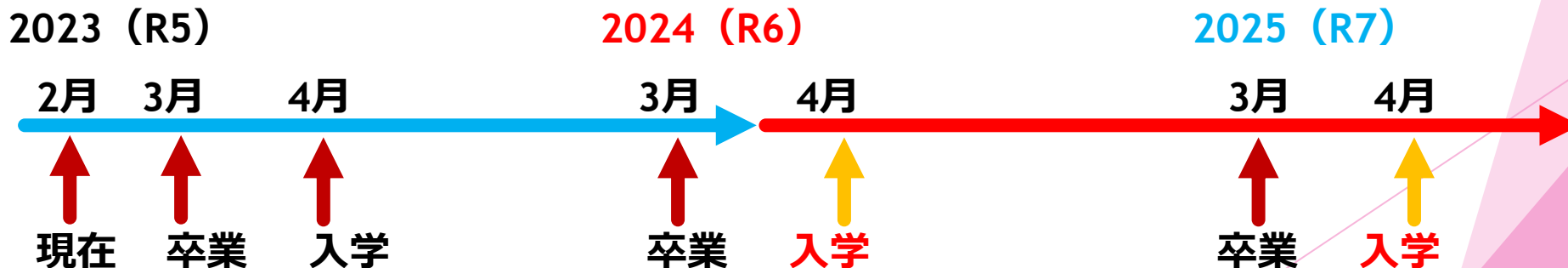
# 分校の2025年度の入学選考は行われるが、



本校化を実現するには、なにを  
しなければならないのか？ ハードルはなにか？

分校

村立本校



## 山添分校の問題

# なにをしなければならないのか？ 事務的なことを挙げると

県との打ち合わせ・協議 ⇒ 県の認可

①申請認可          設置条例・管理運営規則作成   各種規定など

⇒ 議会の審議と承認

②校名募集

③施設整備          校長室   事務管理   教室整備

④開校業務          校歌・校旗・制服、教科書、入試要項、

同時に閉校準備

⑤学校説明会・入試準備

⑥同窓会や後援会への周知徹底

## 山添分校の問題

なにをしなければならぬのか？  
**本校化へのハードルはなにか？**

- ①分校の価値を見直す。
- ②分校のあり方を考え直す。
- ③大和高原の東端に存在し、伊賀に隣接することを利点とする。
- ④将来の負担ではなく、村の将来への投資とする。

## 山添分校の問題

なにをしなければならないのか？  
ハードルはなににか？

### ①分校の価値を見直す。

子供達にとって、じっくり自分や社会を見つめなおす安全な場所と時間が必要。

山添村と言う地の利を生かした時、それは豊かに残る里山の原石。

そんな環境で自分自身をゆっくりと見つめて、受け入れられている中で、発芽する若い可能性を見守る場所はまさに必要とされている。

通信科教育では、決して得られないものがある。

ここまで来て、初めて自分の場所、成長する場所がある。

## 山添分校の問題

なにをしなければならぬのか？  
ハードルはなににか？

### ②分校のあり方を考え直す。

地域との繋がりが不足（全国的な傾向にあるが）。  
村立の学校なのだから。

村民に、私達の学校という認識が足りない。  
私達の関心が低い。

分校も、まだ殻に閉じこもっている。

## 山添分校の問題

なにをしなければならぬのか？  
ハードルはなににか？

- ①分校の価値を見直す。
- ②分校のあり方を考え直す。
- ③大和高原の東端に存在し、伊賀に隣接することを利点とする。
- ④将来の負担ではなく、村の将来への投資とする。



山添村立奈良県立山辺高等学校山添分校

生徒の一日

近鉄 急行 青山町行 名張駅までの乗車券代 名張駅までの1か月 通学定期代	大和八木	⇒	桜井	⇒	榛原	⇒	名張
	7:21発		7:26発		7:40発		7:56着
	570円		500円		360円		
	5,240円		5,160円		4,940円		

天理方面

天理駅発 7:14

↓奈良交通バス1,310円

国道山添着 8:06

伊賀方面

上野市駅発 7:55

↓三重交通バス700円

大西着 8:21

名張方面

名張駅東口発 8:05

↓山添村コミュニティバス200円

大西着 8:45

徒歩で乗換

徒歩

8:50

SHR

9:00

9:05

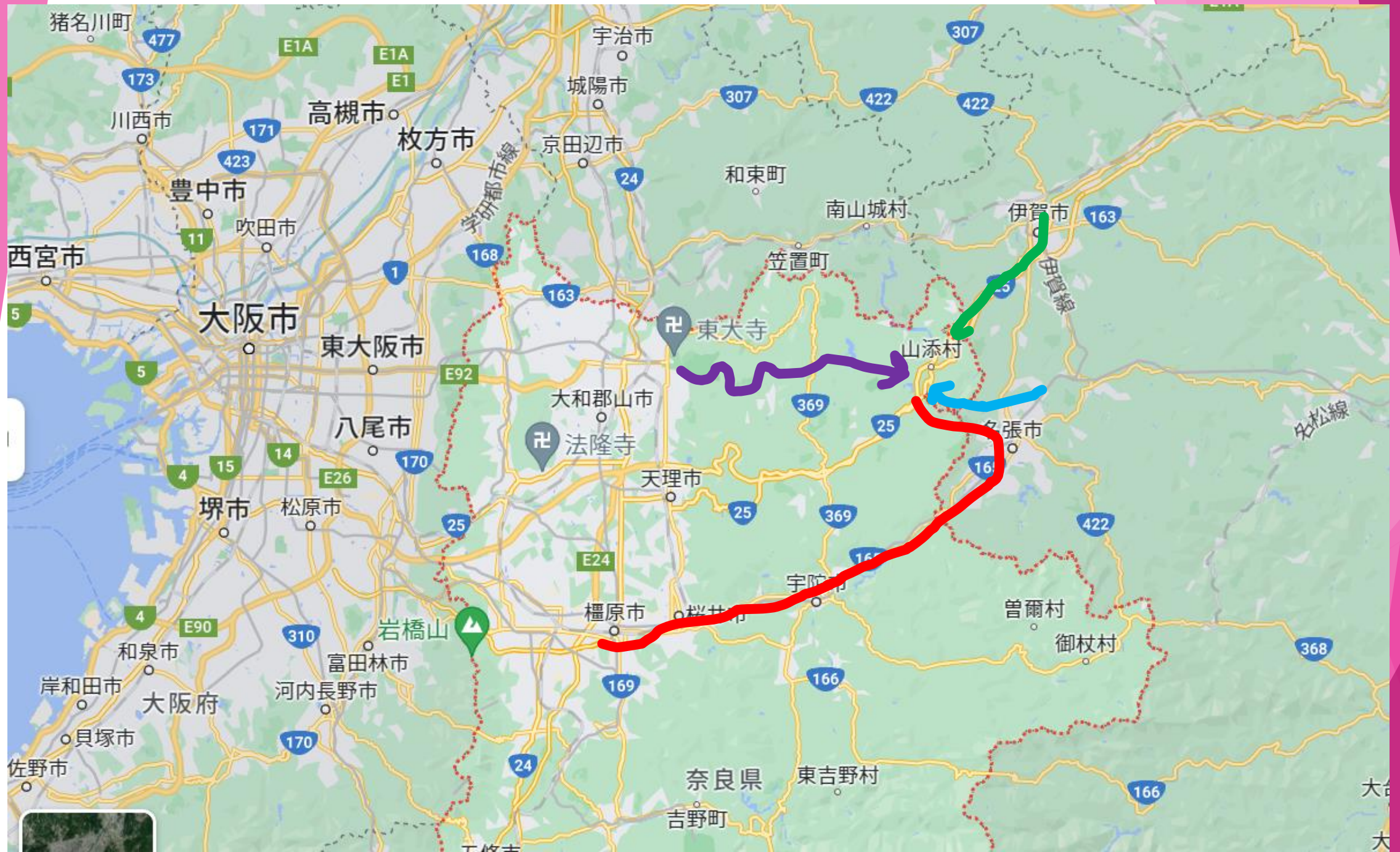
在籍生徒39名

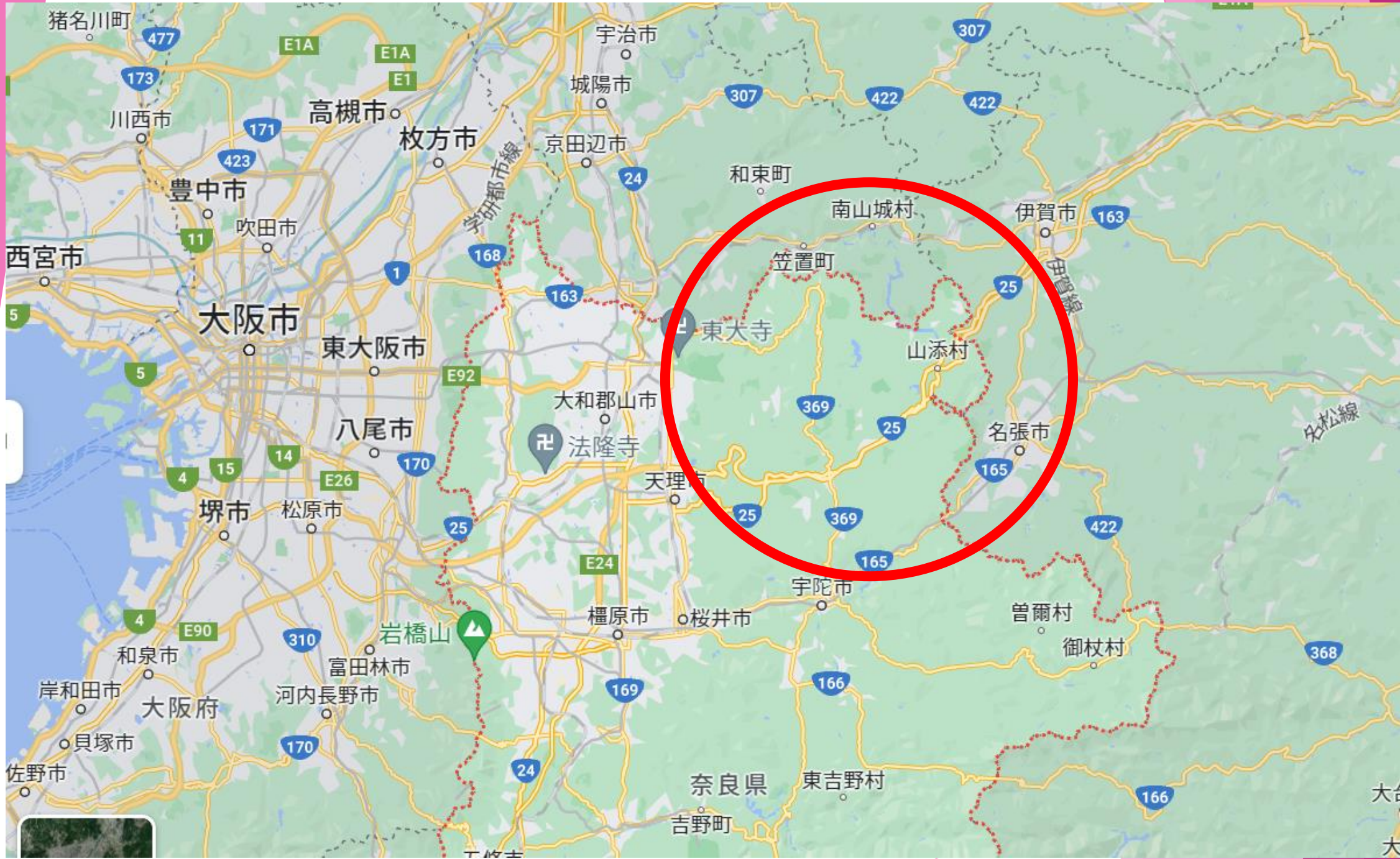
(令和4年4月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	合計
--	----	----	----	----	----

第3学年時間割

	月	火	水	木	金	
	農	家	農	家	農	家
I	国語総合	世界史A	数学I	体育	フ ァ ッ シ ョ ン	





## 山添分校の問題

なにをしなければならぬのか？

ハードルはなににか？

④ 将来の負担ではなく、村の将来への投資とする。

分校があるから移住したくなる！

農業教育立村が、一番適している。

## 山添分校の問題

なにをしなければならないのか？

ハードルはなにか？

④ 将来の負担ではなく、村の将来への投資とする。

本校化する学校の規模は？

公立高等学校の適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律

第5条が削除されたために、小さな本校の設置が許されている。

(高等学校の本校の規模は、一学年の定員が80人以上とされていた)

つまり、

最初から小規模校を想定し、一人一人に丁寧な指導が行き届く学校を創ることが可能。

## 山添分校の問題

なにをしなければならぬのか？

ハードルはなにか？

④ 将来の負担ではなく、村の将来への投資とする。

良き前例がある！

1950 (S25) 西吉野村立県立五條高等学校賀名生分校設立

2005 (H17) 五條市立県立五條高等学校賀名生分校

2021年 (R3) 本校化 五條市立西吉野農業高等学校

★ 蛇足だが、旧都祁村の人は、山辺高等学校に何が出来る？

## 山添分校の問題

なにをしなければならぬのか？

ハードルはなににか？

④ 将来の負担ではなく、村の将来への投資とする。

唯一無二の存在を活かす。

ユニークな存在。

山添村にしかできない教育。

地元の高等学校が無くなると言われたら、

市町村長は県に泣いて懇願する！

村の“終活”をしている場合ではない！

## 山添分校の問題

なにをしなければならぬのか？  
ハードルはなににか？

- ①分校の価値を見直す。
- ②分校のあり方を考え直す。
- ③大和高原の東端に存在し、伊賀に隣接することを利点とする。
- ④将来の負担ではなく、村の将来への投資とする。

**山添村民 = 山添人**



今年は、住民投票から20年  
分校創立 75年  
山添村立村 67年

**山添村民 = 山添人**

**独立独歩の自覚と覚悟**

今年は、住民投票から20年  
分校創立 75年  
山添村立村 67年

## 村長への要望！

もっと幅広い声を聞け。

本校化プロジェクトを！

若者を入れて、卒業生を入れて。

権力の亡者になるな。

私のブログも読んでください。



ご清聴ありがとうございます。